

## 第2章 計画の方向性

### 第1節 計画の基本理念とキーワード

少子化や核家族化の進行をはじめ、就労環境等がめまぐるしく変化する今日、子育てに負担感や孤独感を感じる保護者が増えてきており、子どもの健全な育成に少なからず影響を与えています。そのような中で、若い世代が安心して働き、希望どおり結婚し、子どもを産み、健やかに育てることができる地域社会の実現が求められています。

このような状況の対応に向けて、本計画では、これまで推進してきた「北広島町次世代育成支援対策行動計画」から継承すべき基本姿勢などを踏まえつつ、若者・子育て世代の安定した雇用の創出、Uターン等の定住対策や教育・保育の質の向上、父親と母親をはじめとする家族の協力による子育て、行政、民間、地域の連携など、まち全体をあげて子育てを支援していきます。

こうした子育て支援を通じて、次代の主役である子どもたちが、ホッと安心できる環境で、すくすくと育つことができるまちの実現に向け、下記を本計画の基本理念として定めます。

#### ■計画の基本理念

**“ホッと”できる環境で、子どもが“すくすく”育つまち**

～健やかに自立した大人へと成長できる北広島町～

子どもは、地域の宝として私たちに希望をもたらし、未来の北広島町を創る力です。

安心して子どもを産み育てる家庭を支えることと、子どもが幸福に暮らし、さまざまな個性や能力を伸ばし、自主性や社会性を身につけ、自立した大人へと健やかな育ちを支えることは、子どもとその家庭の幸せにつながるだけではなく、北広島町の将来の担い手育成にもつながるため、地域全体で取り組む重要課題の一つといえます。

そこで、地域社会が一つになって、「北広島っ子」を育てていくという考えのもと、子どもとその家庭を支えることにより、子育てや子どもの成長を喜び、生きがいに感じることができる北広島町をめざします。

なお、計画のキーワードについては、これまでの計画同様、以下の2つを踏襲します。

#### ■計画のキーワード

●安心して子育てをしたい

●子どもの生きる力を育みたい

## 第3節 基本目標と施策の体系

---

本計画の基本理念に基づき、以下の基本目標のもとに施策の展開を図ることとします。

### 基本目標①

#### 『安心して子育てできる環境づくり』

少子化、核家族化が進む現代にあっては、家庭の中に子育て経験者がいない場合や、両親以外に子どもの面倒をみることができない家庭も増えています。このため、「親となることへの不安」や「子どもの健やかな成長への不安」、「子育てと仕事の両立への不安」などを抱える保護者を地域社会全体で支えます。

また、実際の子育て経験を通じて親として成長でき、さらには子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう、安心して産み育て子育てに喜びを感じることのできる環境をつくります。

### 基本目標②

#### 『子どもたちの生きる力を育む環境づくり』

「子どもが幸せになってほしい」というのは、住民誰しもの願いです。

子どもが幸せな未来を切り開いていくためには、さまざまな体験を通して「生きる力」を身につけることが必要です。社会環境の変化や価値観の多様化を背景に、「基本的生活習慣が身につけていない」などの声もあがっていることから、家庭・地域・保育所（園）・学校がそれぞれの役割を担い、知・徳・体のバランスのとれた子どもたちの「生きる力」を身につけていける環境をつくります。

## 第2節 基本姿勢

---

基本理念を実現していくために、以下5点を基本姿勢として施策を実施していきます。

### (1)子どもの最善の利益を支える

子どもを一人の独立した人格として尊重し、子どもの幸せを第一に考え、子どもの生存と発達保障されるよう、良質かつ適正な子ども・子育て支援の展開を図り、子どもの最善の利益が実現される北広島町をめざします。

### (2)家庭の主体的な子育てを支える

子育ての第一義的責任が家庭にあることは広く認識されることです。

その中で、基本的な生活習慣が身につけていない子どもが増えているなど、家庭の教育力の低下も指摘されています。家庭がしっかりと子どもに向きあい、愛情を注ぐことは、子どもの成長に欠かせないことから、「家庭が子育てに関して、本来の役割を果たしていけるよう支援する」という観点から取り組みます。

一方、核家族化の進展、地域のつながりの希薄化、共働き家庭の増加など、子育て家庭や子どもの育ちをめぐる環境が変化しています。こうした環境の変化を踏まえ、子どもの社会性を身につけさせる上でも、また、子育てに関する保護者の負担を和らげる上でも、地域社会が保護者に寄り添い、子育てに対する不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができる北広島町をめざします。

### (3)すべての子どもの健やかな育ちを育む教育・保育体制を整える

乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期です。少子化により、子どもの育ちをめぐる環境は変容しており、健やかな育ちのためには、同年齢・異年齢の中で育つ機会の確保が必要となります。

そのため、乳幼児期においては、しっかりと愛着形成を基礎とした情緒の安定や、他者への信頼感の醸成、他者とのかかわりや基本的な生きる力の育成、心身の健全な発達を通じて、一人ひとりの個性が認められ、自己肯定感を持って育まれることが求められています。

そこで、乳幼児期の重要性や特性を踏まえ、発達に応じた適切な保護者のかかわりや教育・保育の量、良質な施設整備等の確保はもとより、北広島町の自然、歴史文化等を生かした質の高い教育・保育の安定的な提供を通じ、子どもの健やかな発達を保障する北広島町をめざします。